国際教育導入･理系プログラム (台湾)

理工系学部生を主な対象としたフレッシュマンズグローバル人材育成プログラム

早稲田大学留学センターでは、主に理工系学部生を対象に、ゴールデンウィークを利用して国立台湾大学(NTU)で学ぶプログラムを行います。大学生活を始めたばかりの1年生から参加が可能で、学部生向けに理系のフィールドを幅広くカバーする内容になっています。国立台湾大学での講義に加えて、博物館や天文台などの学内外の施設を訪問する課外活動を予定しています。プログラム終盤には、自己の学習成果をプレゼンテーションという形で発表します。台湾滞在中、異文化を学ぶ観点から、台北市内の歴史的な場所や観光地を巡ります。

プログラム中は、台湾の学生がバディーとして生活面をサポートします。授業はティーチングアシスタント (TA) が授業をサポートします。直接台湾人学生と交流ができる機会が多く、異文化理解を深めることができます。本学の台湾オフィス主催で校友会とのイベントも予定しています。

1. 本プログラムの特徴

(1) 集中講義 (春学期) の正規授業科目です。主に理工系学部の学生向けのプログラムです。
(2) これまで海外デビューを果たしたことのない学生にお勧めです。台湾の魅力を体感できます。
(3) 台湾滞在中には、大学での講義に加え、大学のリサーチセンターや天文台のある溪頭、地震ミュージアムへフィールドワークに行きます。文化遺産、観光地なども巡り、盛りだくさんの内容です。
(4) プログラム期間、全アクティビティー、授業に出席し、成果発表を行った学生には、1 単位が付与されます。

2. 台湾滞在中の旅程案

1 日目	4 月 29 日(金)	朝 昼 午後	羽田空港　発 台北松山空港　着 → 国立台湾大学 コース概要説明 DIY Science (3D & Telescopes)　講義	大学側レジデンス 宿泊
2 日目	4 月 30 日(土)	終日	溪頭天文エコツアー&天文台で徹夜観測 (フィールドワーク)	天文台泊
3 日目	5 月 1 日(日)	午前 午後	溪頭天文エコツアー終了 Jiji 台湾地震博物館　訪問	大学側レジデンス 宿泊
4 日目	5 月 2 日(月)	午前 午後	化学、幾何学　講義 フィールドトリップ 国立故宮博物院	大学側レジデンス 宿泊
5 日目	5 月 3 日(火)	午前 午後	21 世紀の生物学　講義 Industry Visit	大学側レジデンス 宿泊
6 日目	5 月 4 日(水)	午前 午後	企業研究所訪問 学生によるプレゼンテーション	大学側レジデンス 宿泊
7 日目	5 月 5 日(木)	午前 午後	観光･自由行動 台北松山空港　発 羽田空港　着	大学側レジデンス 宿泊

3. プログラム内容

(1)台湾滞在：2016 年 4 月 29 日 (金) ～5 月 5 日 (木)　6 泊 7 日　(予定)
(2)参加費用：約 274,000 円　(航空賃、宿泊費、一部現地交通費を含む)

4. 申込み・科目登録手続き

(1) 対　　象：早稲田大学　学部入学予定者（合格し入学確定した方）・学部生
※主に理工系向けですが、文系学部生でもお申込み可能です。
最大 15 名、最少催行人員：10 名

(2) 英 語 力：TOEFL(iBT) 50-60、TOEIC(LR) 500-600、英検 2 級　程度（基準以下でも応募可能）

(3) 申 込 み：3 月 21 日（月）までに以下の申込みフォームよりご応募ください。
https://www.wnp.waseda.jp/portal/services/Application/module/Application.php?mode=preview&enq_id=4dd52fe1329cf2c59a19a4d3

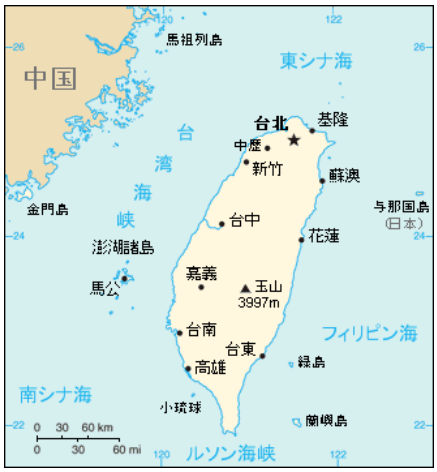
(4) 結果発表：4 月 7 日（木）までに、申請者全員に電子メールにて通知します。参加決定者には科目登録手続きをお知らせします。

※詳細は、ウェブサイトにてご確認願います（申込方法もあり）。
検索エンジンに「早稲田大学留学センター」と入れてホームページを表示（http://www.cie-waseda.jp/jp/）→「早稲田から海外への留学」（画面上部）→「留学プログラム」を選択→「短期留学プログラム」（左側）内

5. 台湾と国立台湾大学

(1) **台湾は**東シナ海の南方に浮かぶ九州程の大きさの島である。緑豊かなこの島は、海上の要衝であり、古くから貿易の中継地としても栄えてきた。周囲を海岸で囲まれている一方で、山が多い土地でもあり、中央部を南北に走る山脈には標高 3000 メートル級の山が連なるというダイナミックな地形をしている。変化にとんだ地勢は、台湾の各地に独特の風景や風習、特産品を生み出した。

20 世紀後半の間、台湾は急速な経済成長及び工業化を経験し、現在は先進国で、WTO 及び APEC 加盟国である。世界 19 番目の経済大国であり、世界経済においてハイテク産業は重要な役割を担っている。台湾は言論の自由、医療、公教育、経済的自由、人間開発の観点から上位に順位付けされている。公用語は中国語、通貨は台湾元　（1 台湾元 ＝ 約 4 円）。



(2) **国立台湾大学（National Taiwan University）は**、1928 年に設立された台北市に本部を置き、アジアの中でもトップレベルの総合大学である。11 学部・院、54 学科があり、3 万人を超える学生が学んでいる。外国人留学生も多く、毎年世界各国から約 1000 人の学生が集まっている。キャンパスは駅からも近く、観光地やショッピングスポットも付近にあり立地は抜群。研究のための牧場や森、病院などがあり、教育施設も非常に充実している。

（2016 年 3 月 11 日更新。内容は変更があり得ます。最新情報はウェブサイトで確認ください。）

問い合わせ：早稲田大学留学センター　gw-projects@list.waseda.jp